

与良川通信

～ 第30号～

令和4年 9月 1日発行



工事名：栃木南部農業水利事業
与良川統合排水機場建設工事
発注者：農林水産省 関東農政局
受注者：前田建設工業株式会社

「安全」「環境」「品質」を最優先して作業を行ってまいります。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、何卒宜しくお願いします。
ご意見、ご感想がありましたら、お気軽にお声掛けください。

令和4年7月末現在
工事進捗率：82.0%

【文責】
田野 伸午

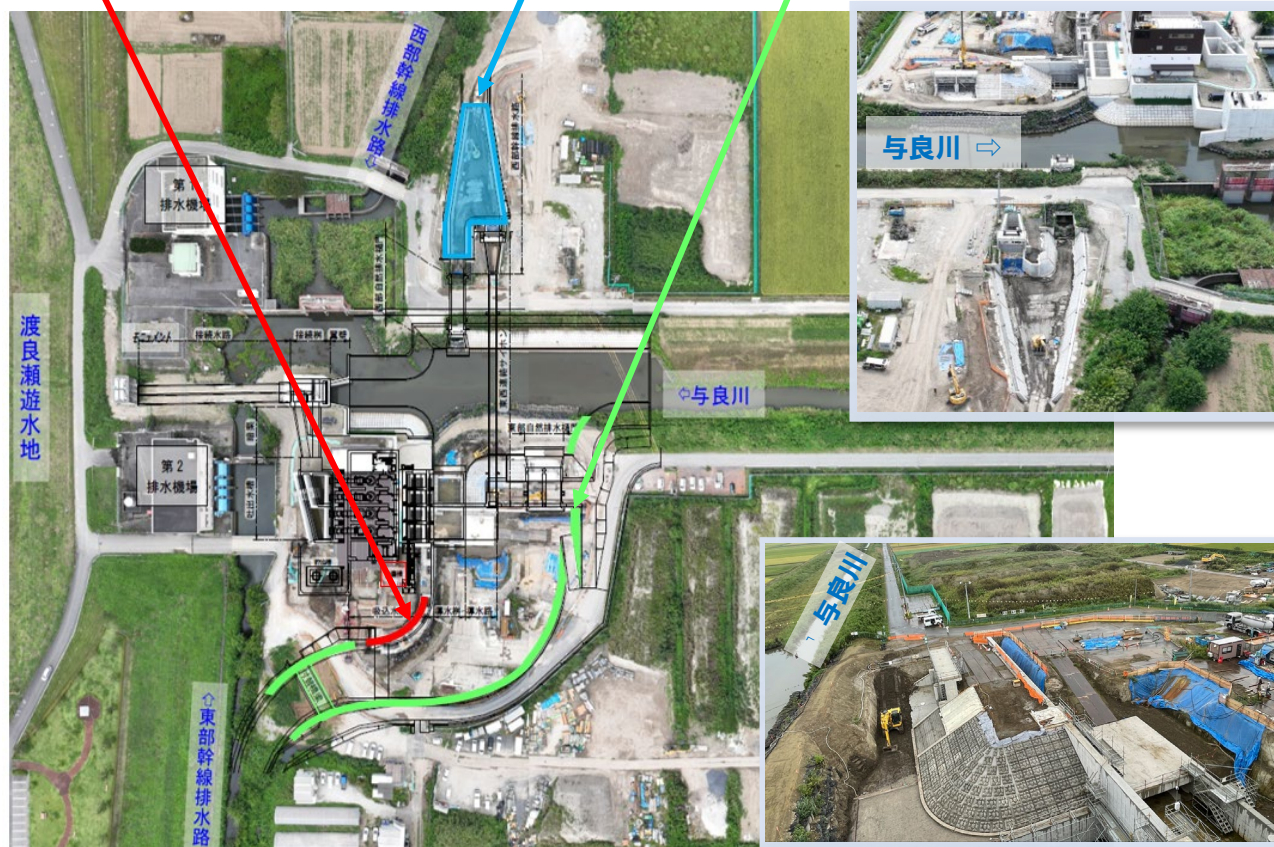


はじめに

現場近くの田んぼも黄金色に輝き、
いよいよ実りの秋を迎えました。
スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋・・・
秋は何かに没頭するのにピッタリな季節です。
是非、実り多き季節になにか始めてみては？

これからの施工について

右岸側の西部幹線排水路は間もなく河床コンを終え完成します。
左岸側では付替橋梁、遊水池外周護岸の順に地盤改良を行い、
除塵機周りで擁壁を築造後に埋戻し、基礎杭打ちの順に進めます。



職員紹介

もとよし こうた
本吉 晃大
宮崎県出身 24才

意気込み

はじめての現場経験なので、
現場がどういうものが理解し、
一日も早く戦力になりたいです！

行ってみたい栃木の名所

とにかく食べることが大好きなので、
宇都宮餃子の「みんな」に行きたいです！

今年度 新入社員

ゆ のうめい
兪 能銘
愛知県出身 24才

意気込み

生井地域の防災に貢献できるように
目の前の仕事に一生懸命取り組みます！

行ってみたい栃木の名所

鬼怒川温泉に行ってみたいです。
老舗のきれいな旅館で休日を
のんびり過ごしてみたいです。

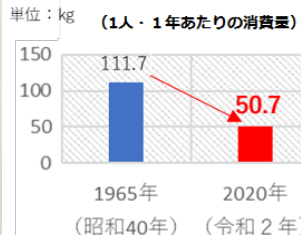
現場で考える 食料事情

みなさんが毎日食べている、ごはんやラーメン、パン、パスタ、
これら炭水化物が多くてエネルギーのもとになる食べ物を主食といいます。
主食の原料は穀物や、イモ類が代表的です。
しかし、現在おもな生産国であるロシアとウクライナの軍事衝突の影響で、
市場価格が高騰し、世界中で穀物が手に入りにくくなっています。
現在、日本の食料自給率は37%と、半分以上を輸入に頼っています。
その中でも小麦の自給率は15%であり、今回特に影響を受けています。
日本人の主食であるコメは97%と、日本国内でほとんど生産できますが、
食生活の欧米化や、安価な外国産小麦の台頭により消費量は減少しています。
ここ小山市内では古くから一年を通しコメと麦、両方を生産しています。
地元のコメ、麦を積極的に食べることは、日本全体の自給率向上につながり、
やがて世界全体の食料供給の安定化にもつながるのです。

日本の食料自給率 (2020年度)

カロリーベース	生産額ベース
37%	67%

コメの消費量の比較



※農林水産省「食料需給表」より作成



地域の安定した農業生産を維持するためにも、一日も早い排水機場の運転開始を目指し工事を進めてまいります